

教科別授業改善研修会（2023. 〇〇. 〇〇）

小学校  
中学校

社会科  
社会科

群馬県教育委員会事務局



# 本日の内容

## 1 令和5年度 学校教育の指針（社会科）について

各教科等で**学びを深める**授業改善のポイント

諸資料から読み取れる情報を根拠とし、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察したことや、社会に見られる課題の解決に向けて考えたことについて他者と語り合う活動を設定しましょう。

- 1 令和5年度学校教育の指針  
～社会科で学びを深める授業改善のポイント～
- 2 なぜこのポイントなのか
- 3 授業改善のポイントを具現化するために  
～本日の2つの授業を基に～

### 本日のまとめ

- 「思考力，判断力，表現力等」を育むための  
教師のコーディネート力を高めましょう。
- 子供が単元の課題解決を意識できる授業デザインをしましょう。

# 1 令和5年度 学校教育の指針（社会科）について

## 各教科等で**学びを深める**授業改善のポイント

諸資料から読み取れる情報を根拠とし、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察したことや、社会に見られる課題の解決に向けて考えたことについて他者と語り合う活動を設定しましょう。

## <中学校>

### 知識及び技能

(1) 我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

地理的分野

歴史的分野

公民的分野

## 社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な**公民としての資質・能力の基礎**を次のとおり育成することを目指す。

小・中共通

### 思考力,判断力,表現力等

(2) 社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

地理的分野

歴史的分野

公民的分野

### 学びに向かう力,人間性等

(3) 社会的事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

地理的分野

歴史的分野

公民的分野

# 本日の授業では・・・

駒形小学校



<ねらい>  
中島飛行機の戦後の様子を表す資料を基に、中島飛行機の再出発について話し合う活動を通して、先人たちの苦心や努力が当時の生活の向上や自動車会社の設立に繋がったことを理解できるようにする。

太田中学校



<ねらい>  
アジア州が急速に経済発展を遂げた理由を、振り返りシートを基に個人で考え、グループで交流する活動を通して、他地域との共通点やつながりを表現できるようにする。

# 2 なぜこのポイントなのか

これまでの経緯

平成30年度

- 児童生徒の疑問や驚きを基に、目指す児童生徒の姿につながる単元の課題を設定しましょう。
- 資料から読み取った様々な情報を整理し、比較・関連付けるなどして考えさせたことを、自分の言葉や図などで表現させましょう。

平成31年度（令和元年度）

- 児童生徒の疑問や驚きを基に、目指す児童生徒の姿につながる単元の課題を設定しましょう。

はばたく群馬の指導プランⅡ（令和元年8月）完成

令和2年度（はばプラⅡを活用し、まずはここから始めよう！）

- 「つかむ」過程において、単元に関わる社会的事象について課題意識が高まる資料を提示して、児童生徒の疑問や驚きを基に、単元の課題を設定しましょう。

令和3年度～令和5年度

- 資料から読み取れる情報を根拠とし、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察したことや、社会に見られる課題の解決に向けて考えたことについて他者と語り合う活動を設定しましょう。

# 2 なぜこのポイントなのか

## 1 令和5年度 学校教育の指針（社会科）について 各教科等で学びを深める授業改善のポイント

諸資料から読み取れる情報を根拠とし、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察したことや、社会に見られる課題の解決に向けて考えたことについて他者と語り合う活動を設定しましょう。

### その1

社会科の目標の「思考力、判断力、表現力等」の育成において、「社会的事象を比較したり、関連付けたりして考えることのできる児童（生徒）は少ない。」といったことが学習指導案の児童生徒の実態欄に表記されていることが多く、苦慮されている先生方が多い。

### その2

多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて考えたりする話し合いの場はあるものの、話し合いに深まりが出ない。

# 2 なぜこのポイントなのか

## (理由1) 学習指導案における児童生徒の実態の記述 (小学校)

### I 単元の構想

#### 1 小単元の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	・地図や写真などの資料で調べて年表な	
思考力、判断 表現力等	さる。	
学びに向かう力、 人間性等	・産業における地域の発展に尽くした先人の働きについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりする。	

▲諸資料を比較したり、  
関連付けたりしながら  
考察する力に課題

# 2 なぜこのポイントなのか

## (理由1) 学習指導案における児童生徒の実態の記述 (中学校)

### I 単元の構想

#### 1 単元の目標及び生徒の実態

	目標	生徒の実態
知識及び技能		
思考力、判断力、表現力等	を、人口増加や他地域との結び付きなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現することができる。	
学びに向かう力、人間性等	・急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題を主体的に追究しようとする。	

▲読み取った相互の情報を、  
関連付けて考察、表現する  
力に課題

## 2 なぜこのポイントなのか

### 1 令和5年度 学校教育の指針（社会科）について

各教科等で**学びを深める**授業改善のポイント

諸資料から読み取れる情報を根拠とし、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察したことや、社会に見られる課題の解決に向けて考えたことについて他者と語り合う活動を設定しましょう。

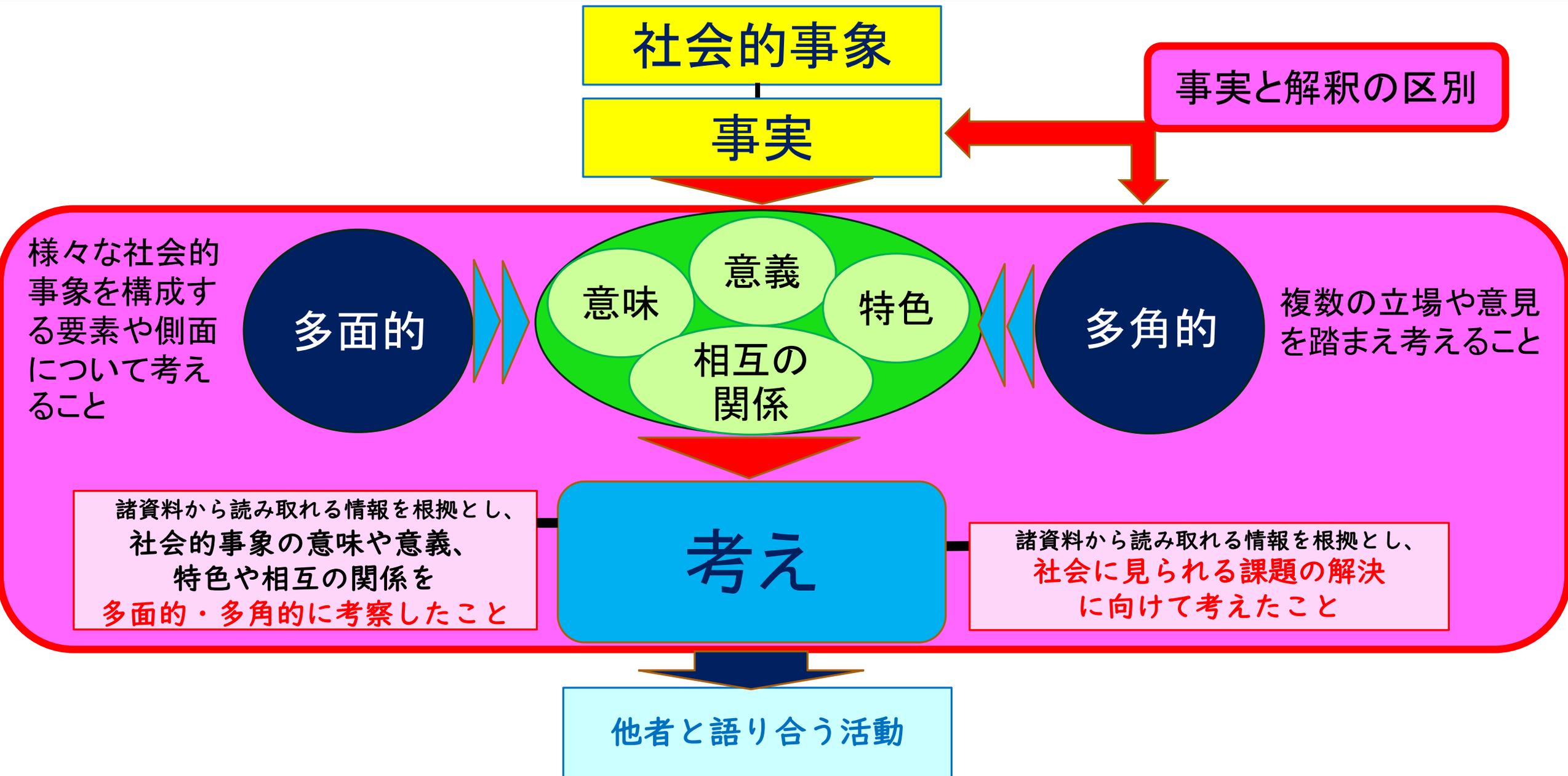
### その1

社会科の目標の「思考力，判断力，表現力等」の育成において、「社会的事象を比較したり、関連付けたりして考えることのできる児童（生徒）は少ない。」といったことが学習指導案の児童生徒の実態欄に表記されていることが多く、苦慮されている先生方が多い。

### その2

多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて考えたりする話し合いの場はあるものの、話し合いに深まりが出ない。

# 3 授業改善のポイントを具現化するために



# 「他者と語り合う活動」について

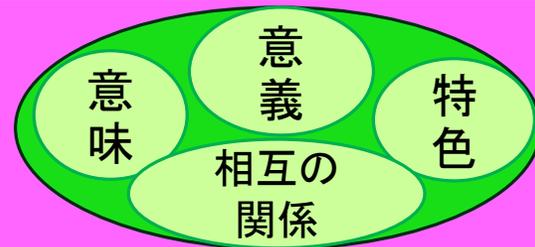
中学校学習指導要領より

思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする(力)

学習指導要領解説（中学社会）より

資料等を適切に用いて論理的に示したり、その示されたことを根拠に自分の意見や考え方を伝え合い、自分や他者の意見や考え方を発展させたり、合意形成に向かおうとしたりする力を育む

根拠となる  
諸資料等（事実）



根拠を基に、解釈した  
自分の考え



言語活動の充実

伝え合い

考えを発展

合意形成

他者と語り合う活動



# 3 授業改善のポイントを具現化するために

## ～確かな学力の育成～

◎ICT活用の特性・強み(※)を最大限に生かし、学校、放課後・家庭における学びや、オンラインによる学びを関連付けながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進しましょう。

- ※【ICT活用の特性・強み】
- ☆多様で多量の情報を収集、整理・分析、まとめ、表現することができる！(試行の繰り返し)
  - ☆時間や空間を問わずに音声・画像・データ等を蓄積・再生できる！(思考の過程や結果を可視化)
  - ☆距離に関わりなく相互に情報の発信・受信のやりとりができる！(瞬時の情報共有)

## ICTで 広がる 深まる つながる 教育活動

学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料(文部科学省)

### 学校における学び

#### 各教科等の目標に迫る

[はばたく群馬の指導プランⅡ](#)  
[はばたく群馬の指導プランⅡ ICT活用Version](#)  
問題解決的な学習を充実させるICT機能

#### 授業デザイン + 教師の役割の見直し

↑  
いつ どこでどのように ICTを活用するか…



- オンデマンド教材やデジタルドリル等の活用の促進
  - ・基礎的・基本的な知識及び技能の定着
  - ・個々の興味・関心に応じた発展的な学習

[ICTを活用した家庭学習のススメ](#)  
[家庭と学校の学びをつなげた授業の実践事例](#)

- 企業や専門家との連携
  - 地域社会との連携
  - 他校や海外などとの交流
  - オンライン授業
  - 児童生徒の特性に応じたきめ細かな対応(特別支援教育、外国につながる子供、不登校児童生徒)
- [「オンラインでも」地域の人的又は物的な資源を活用しよう](#)  
[オンライン授業の進め方](#)  
[ぐんまの外国につながる子供たちの学び応援サイト](#) ハーモニー

### 放課後・家庭における学び

### オンラインによる学び

### 3 授業改善のポイントを具現化するために

- 「思考力，判断力，表現力等」を育むための教師のコーディネート力を高めましょう
- 子供が単元の課題解決を意識できる授業デザインをしましょう

### 3 授業改善のポイントを具現化するために



**「思考力，判断力，表現力等」を育むための  
教師のコーディネート力を高めましょう  
(資料の活用工夫、板書の工夫)**



**子供が単元の課題解決を意識できる  
授業デザインをしましょう**



# 「思考力，判断力，表現力等」を育むための 教師のコーディネート力を高めましょう

## ① 資料の活用（導入場面）

つかむ過程（はばプラⅡ）

2 一人一人が、江戸時代と明治時代の日本橋付近の絵図等を基に、疑問や調べたいことを考える。

江戸時代      短期間      明治時代  
20年  
?

- 明治初期の社会の様子や庶民生活について気付いたこと、考えたことをノートに記述させる。

あれ？建物や乗り物が…服装も…

年表を見ても20年しか経ってないんだね。資料を比べて、気になることはあるかな？

追究する過程（はばプラⅡ）

1 本時のめあてをつかむ。

- 資料を基に、中央高地が他と比べ、電気機械工業、果樹栽培の割合が高いことを確認させる。

単元の課題や前時の内容、今日の追究内容について確認しましょう。

年	果樹	野菜	その他
1950年	22.7%	10.8%	57.9%
1980年	20.8%	14.8%	30.5%
2012年	24.4%	15.6%	48.6%

年	プリンタ	産業用ロボット	その他
合計	7474億円	4006億円	15.3%

【めあて】  
中央高地の産業は、なぜ、電気機械工業や野菜・果樹栽培が盛んになってきたのだろう。



・課題意識を高め、課題設定につながる資料

大型提示装置や教師用端末を活用した例

個別最適な学びに関する学習活動	協働的な学びに関する学習活動	教師の指導・支援
1人1台端末の活用		大型提示装置・教師用端末の活用
<p>&lt;例：導入で有効的なICT活用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地形図、写真、3D、縮尺変更等と複数の表現で示す。（地理院地図）</li> <li>地図と鳥瞰図を並べたり、現在と過去の地図の重ねたりする。</li> <li>年表上の出来事をクリックして関係資料を表示する。</li> <li>AR/VRによる国内や世界の現場、歴史の世界をバーチャルに体験（Google Expeditions） など</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項や本時の学習に関する社会的事象の資料を大型提示装置等で、提示する。</li> </ul> <p>&lt;例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子供たちの生活経験に関わるデータ等は事前に整理し、表やグラフ等を作成しておく。</li> </ul>

（はばプラⅡ ICT活用Ver.）



# 「思考力，判断力，表現力等」を育むための 教師のコーディネート力を高めましょう

## ① 資料の活用（追究場面）

### 【追究における資料】

○ 社会科は資料が命とも言われる。解決につながる資料を精選して提示するとともに、その読み取り方の指導も同時に行う。

2 一人一人が大久保らの政策について 教科書や資料集を活用し、調べる。（教科書の資料を使用）

- 廃藩置県・殖産興業・地租改正・徴兵令について、その内容や意味をワークシートにまとめるよう促す。

政策（ 廃藩置県後の 日本の府県	政策（ 富岡製糸場	政策（ 戦いに向かう 政府軍	政策（ 地租改正のため の測量の様子
内容	内容	内容	内容
目的	目的	目的	目的



・課題解決（まとめ）につながる資料

### 資料の活用にあたって

○教師は、資料を精選したり、資料から何を  
読み取らせるのかを明確にしたりすることが重要

※ 見せる順序、タイミング、焦点化

○教科書や資料集、地図帳等の資料等をうまく活用しながら、子供とのやりとりを通して、めあての設定から追究、まとめにつながるようなストーリーを描いていけるとよい



「思考力，判断力，表現力等」を育むための  
教師のコーディネート力を高めましょう（資料の活用の工夫）

駒形小学校

課題設定につながる資料の工夫



「爆撃を落とされた町の様子」

子供の「なぜ？」から  
めあてを設定

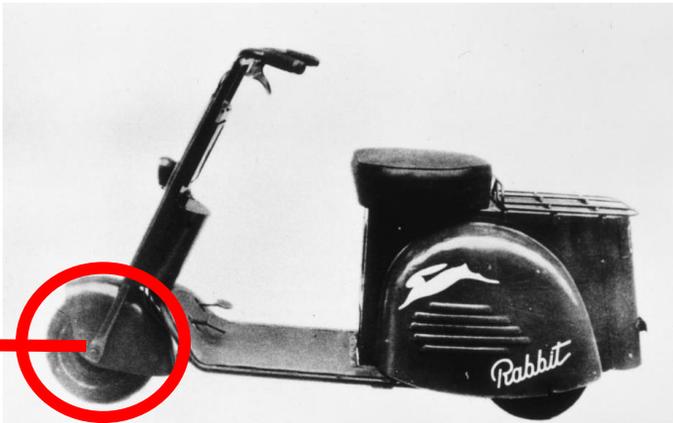


「現在のSUBARU工場」

課題解決につながる資料の工夫



それぞれの写真の  
車輪に焦点化することで  
課題解決につなげる





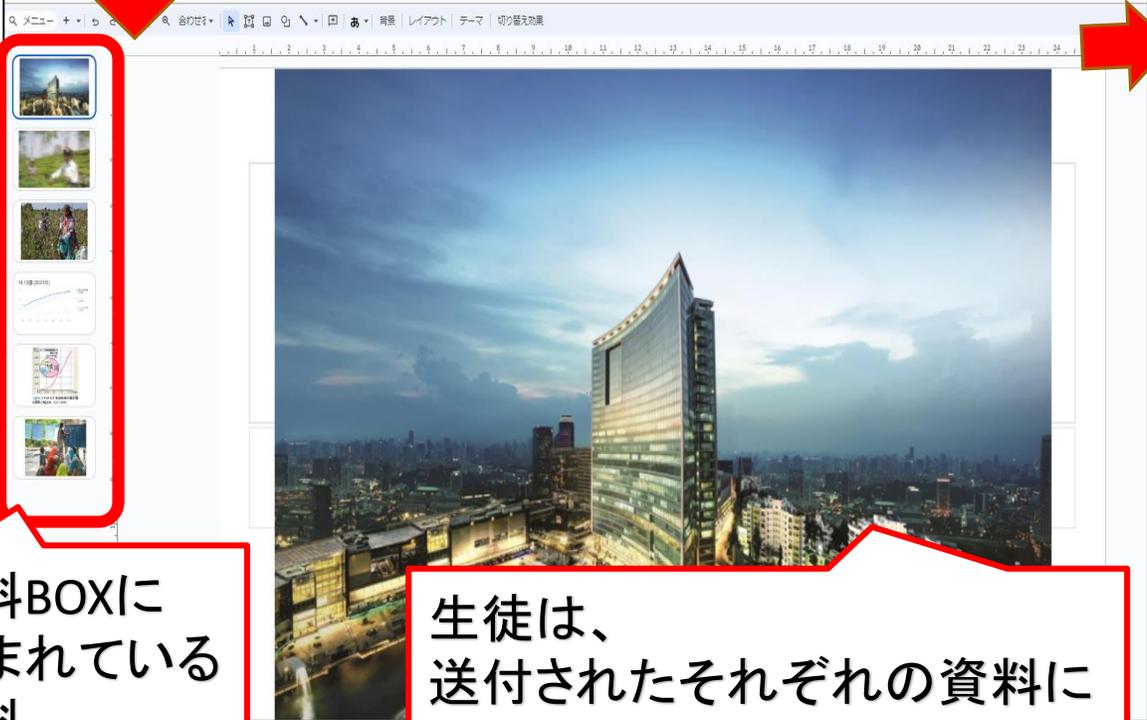
# 「思考力，判断力，表現力等」を育むための 教師のコーディネート力を高めましょう（資料の活用の工夫）

太田中学校

## 課題解決につながる資料の工夫

①  柿沼雅典 さんが新しい課題を投稿しました **資料ボックス⑥南アジア**  
10月19日（最終編集: 10:22）

②



資料BOXに  
含まれている  
資料

生徒は、  
送付されたそれぞれの資料に  
書き込み可能、保存も可能

③



教師は、生徒がどの資料を  
どのように活用しているかを見取り、  
意図的指名等、課題解決につなげる



# 「思考力，判断力，表現力等」を育むための 教師のコーディネート力を高めましょう

## 3 学級全体で、整理した情報を基に考察する。

- 情報を共有させるとともに、社会的事象の特色や意味について、「情報＝事実（根拠）」と「社会的事象の特色や意味＝考え」を区別して交流させる。
- 出し合った意見について、本時の解決とのつながりを小集団や学級全体で話し合わせる。
- 話合いの内容を線や矢印を活用して構造的に板書する。



## ②

## 板書の工夫



・「事実」と「考え」を区別した板書

この資料を見て、  
どんなことに気づきますか。



なぜ、〇〇なのだろうか？

どのように、△△しているのだろうか？



子供が「社会的な見方・考え方」を働かせる  
教師の「問いかけ」や「問い返し」が必要

# 見方・考え方(小学校)

「社会的な見方・考え方」を働かせたイメージの例

H28教育課程部会 社会・地理歴史・公民 ワーキンググループ 資料

小学校社会

## 考えられる視点例

- 位置や空間的な広がり  
地理的位置、分布、地形、環境、気候、範囲、地域、構成、自然条件、土地利用 など
- 時期や時間の経過の視点  
時代、起源、由来、背景、変化、発展、継承、維持、向上、計画、持続可能性 など
- 事象や人々の相互関係の視点  
工夫、努力、願い、業績、働き、つながり、関わり、仕組み、協力、連携、対策・事業、役割、影響、多様性と共生（共に生きる） など

## 社会、地理歴史、公民における思考力、判断力

### ◎社会的事象の見方・考え方

社会的事象を、  
位置や空間的な広がり  
時期や時間の経過  
事象や人々の相互関係 } に着目して捉え、  
比較・分類したり、  
地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること。

考察

社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考察する力

構想

社会に見られる課題について、社会への関わり方を選択・判断する力

## 視点を生かした 考察や構想に向かう「問い」の例

- ・どのように広がっているのだろう
- ・なぜこの場所に集まっているのだろう
- ・地域ごとの気候はどのような自然条件によって異なるのだろう
- ・いつどんな理由で始まったのだろう
- ・どのように変わってきたのだろう
- ・なぜ変わらずに続いているのだろう
- ・どのような工夫や努力があるのだろう
- ・どのようなつながりがあるのだろう
- ・なぜ〇〇と〇〇の協力が必要なのだろう
- ・どのように続けていくことがよいのだろう
- ・共に生きていく上で何が大切なのだろう



# 見方・考え方(中・地理的分野)

「社会的な見方・考え方」を働かせたイメージの例

H28教育課程部会 社会・地理歴史・公民 ワーキンググループ 資料

## 考えられる視点例

- 位置や分布に関わる視点  
絶対的,相対的  
規則性・傾向性,地域差 など
- 場所に関わる視点  
自然的,社会的 など
- 人間と自然の相互依存関係に関わる視点  
環境依存性,伝統的,改変,保全 など
- 空間的相互依存作用に関わる視点  
関係性,相互性 など
- 地域に関わる視点  
一般的共通性,地方的特殊性 など

## 社会地理歴史公民における思考力,判断力

### ◎社会的事象の地理的な見方・考え方

社会的事象を,  
位置や空間的な広がりに着目して捉え,  
地域の環境条件や地域間の結び付きなどの  
地域という枠組みの中で,人間の営みと関連付  
けること。

考察

地域の特色や地域相互の関連を多面的・多角的に  
考察する力

構想

地域に見られる課題の解決に向けて,複数の立場  
や意見を踏まえて選択・判断する力

## 視点を生かした 考察や構想に向かう「問い」の例

- ・それは、どこに位置するだろう
- ・それは、どのように分布しているだろう
- ・そこは、どのような場所だろう
- ・そこでの生活は、まわりの自然環境からどのような影響を受けているのだろう
- ・そこでの生活は、まわりの自然環境にどのような影響を与えているのだろう
- ・そこは、それ以外の場所とどのような関係を持っているだろう
- ・その地域は、どのような特徴があるだろう
- ・それは、(どこにある,どのように広げる,どのような場所とする,どのような自然の恩恵を求め,どのように自然に働き掛ける,他の場所とどのような関係を持つ,どのような地域となる)べきなのだろう

地理的分野



# 「思考力，判断力，表現力等」を育むための 教師のコーディネート力を高めましょう（板書の工夫）

駒形小学校（板書計画）

## 単元の課題の提示

単元の課題  
先人たちは、どのような  
くふうや努力をして、  
工業のまちをきずいた  
のだろうか。

① ばくげきを受けたあと、どのように再出発したのだろうか。



飛行機つけない  
じゅう業員数 5万人→3200人  
人々の生活が苦しい

わずか  
1年



1946年

人々の生活に役立つ  
自動車会社につながる

自動車



SUBARU

げんざい

再出発 どのように？

しかし、かたみにはいがなからず！

予想  
また飛行機をつくる  
別のものをつくる

考える

- 少ない人数でできること
- 飛行機とはちがうものづくり方
- 何をすればよいのか
- 残った部品でできること

ためす

- 失敗しながらちよせん
- としかくやってみる

技術を生かす  
エンジン

②

できることを考えた（  
にめしたり）、技術を  
生かしたりしながら  
人々の生活に役立つもの  
をつくり、再出発した。

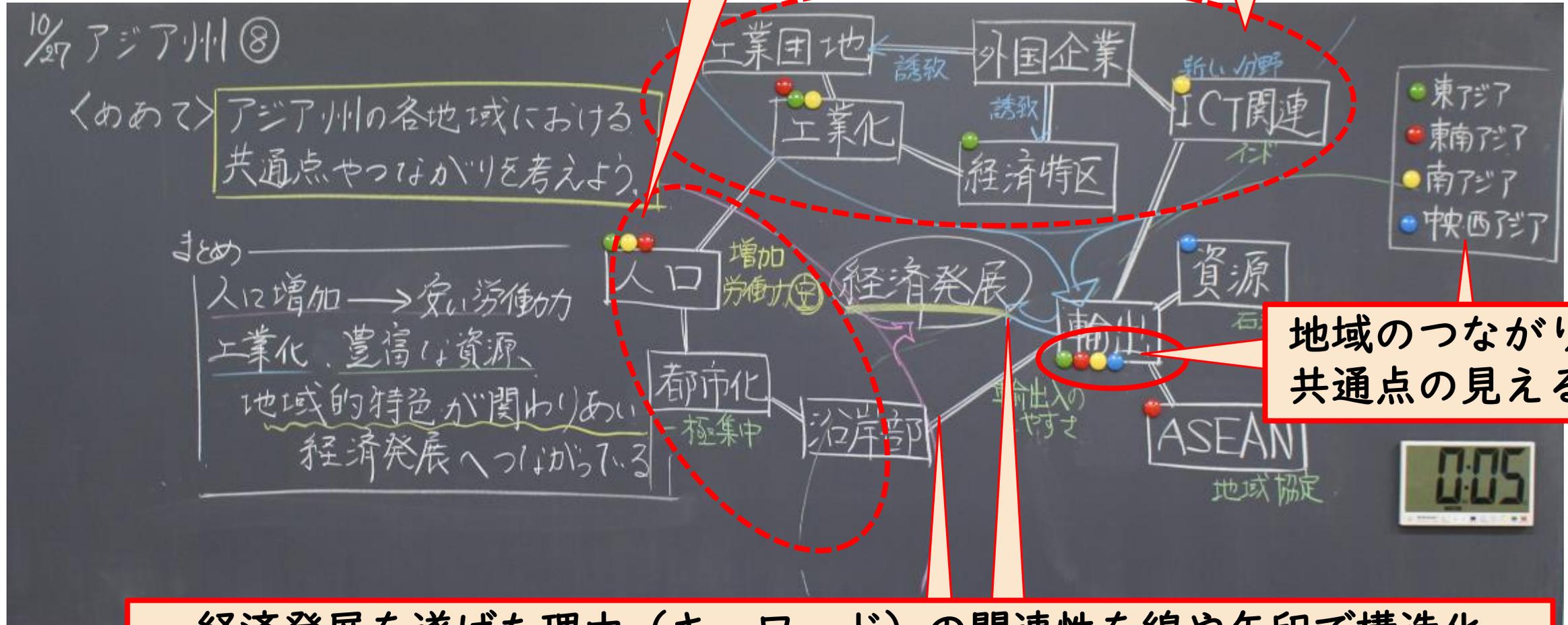
## 「社会的事象の特色」に着目

見通し

# 「思考力，判断力，表現力等」を育むための 教師のコーディネート力を高めましょう（板書の工夫）

太田中学校（板書計画）

関連性のあるキーワードは、  
近くにまとめるイメージをもって板書



地域のつながりや  
共通点の見える化

経済発展を遂げた理由（キーワード）の関連性を線や矢印で構造化

### 3 授業改善のポイントを具現化するために

- 「思考力，判断力，表現力等」を育むための教師のコーディネート力を高めましょう
- 子供が単元の課題解決を意識できる  
授業デザインをしましょう

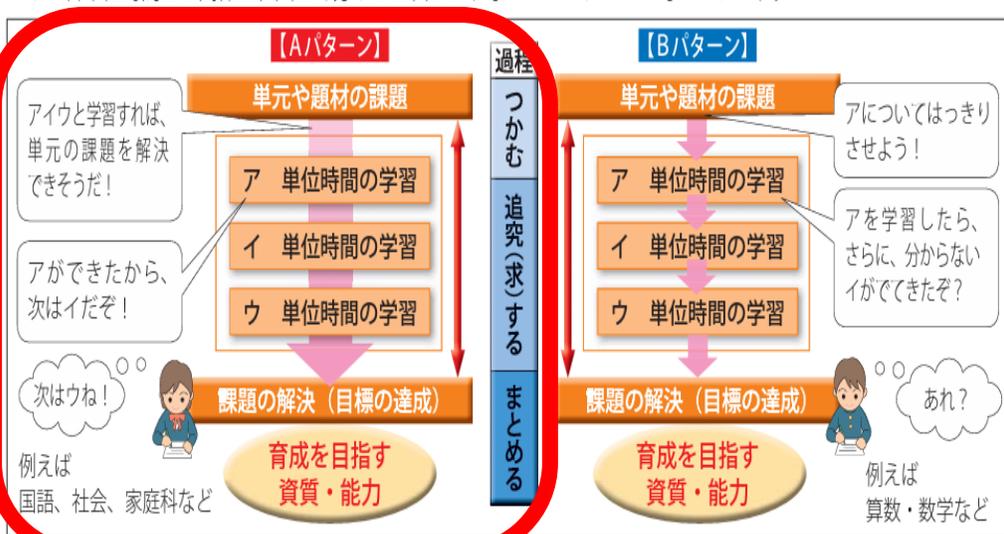


# 子供が単元の課題解決を意識できる授業デザインをしましょう

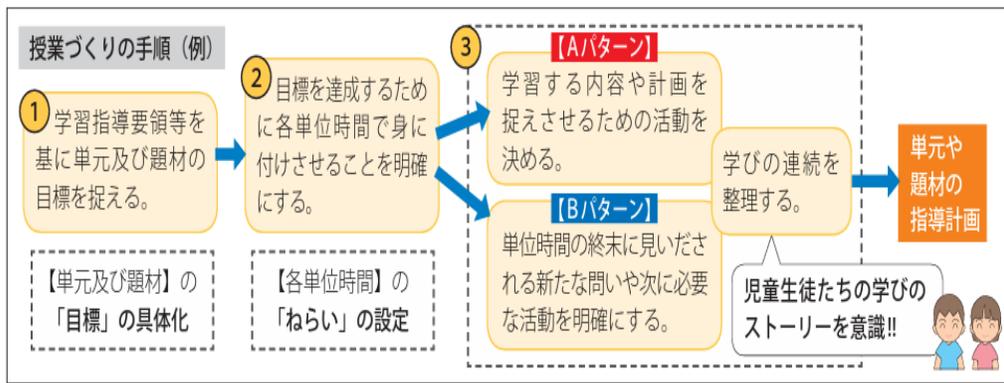
## はばたく群馬の指導プランⅡより

### 2 単元及び題材の課題の解決（目標への到達）に向け、各単位時間をつなげる。

各教科等の特質や扱う内容により「つかむ」過程で設定する単元及び題材の課題と、「追究（追求）する」過程における各単位時間との関係は、大きく分けると次のような2つのパターンが考えられます。



どちらも単元及び題材の課題の解決（目標への到達）に向け、児童生徒の追究意欲や学習内容をつなげて授業をつくります。



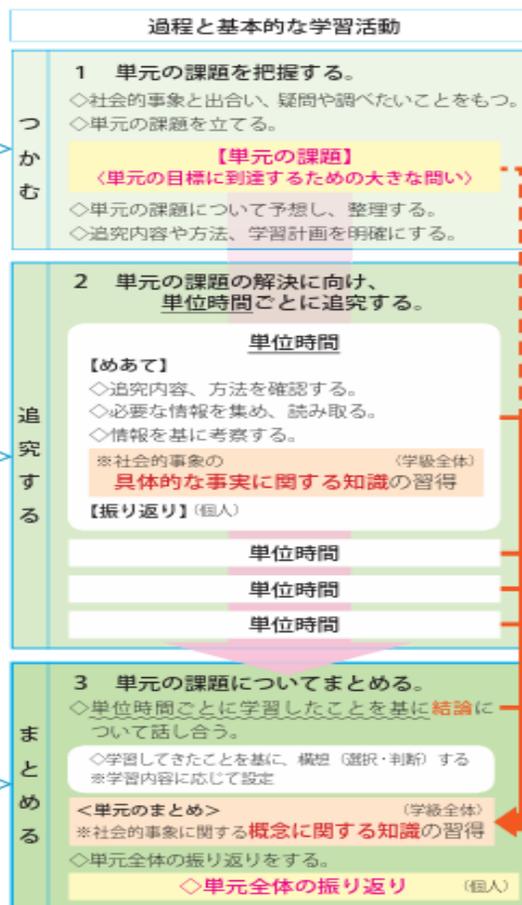
## 社会

### 1 単元のつくり方

社会科は、第1章の2で示すAパターンの単元の構想が多くなります。「つかむ」過程では、児童生徒の課題意識から単元の課題を立てるとともに、追究内容や方法、学習計画を明確にさせます。そして、「追究する」過程では、明確な見通しのもと、各単位時間の追究活動を進め社会的事象についての「具体的な事実に関する知識」を習得させます。最後の「まとめる」過程では、各単位時間で習得してきたことを比較・関連させ、単元の課題の結論としての「概念等に関する知識」を総合的に導き出させます。

#### 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のポイント

- 「なぜ?」「どのように?」などの課題意識を高められるよう、資料などを活用し、社会的事象との意外性のある出会いをさせる。
  - 単元の課題を見いだせるよう、児童生徒の課題意識を基に、解決することの焦点化に向けて話し合わせる。
  - 解決の見通しをもてるよう、予想を基に、追究内容や方法、学習計画を話し合わせる。
  - 一人一人が情報の収集・選択、読み取りができるよう、発達の段階に応じた資料等を準備、提示する。
  - 社会的事象について整理した情報の補完、修正ができるよう、調べたことを他者と伝え合わせる。
  - 単位時間の考察ができるよう、線や色、思考ツール等を用いて社会的事象に関する情報を分類・整理させる。
  - 社会的事象を多面的・多角的に考察できるよう、他者と話し合わせる。
  - 結論を整理できるよう、学習してきたことを基に、一人一人が考えた結論やその根拠などを話し合わせる。
  - 多面的・多角的に構想（選択・判断）できるよう、妥当性や効果、実現可能性等を話し合わせる。
- 重要：単元・単位時間のすべてに関わること  
○自身の学びや実感を自覚したり、次の学びにつなげたりできるように、学習の振り返りをさせる。





# 子供が単元の課題解決を意識できる授業デザインをしましょう

## 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

まとめる

追及する

つかむ

概念に関する知識の習得

単元のまとめ

単位時間

単位時間

単位時間

単位時間

単元の課題

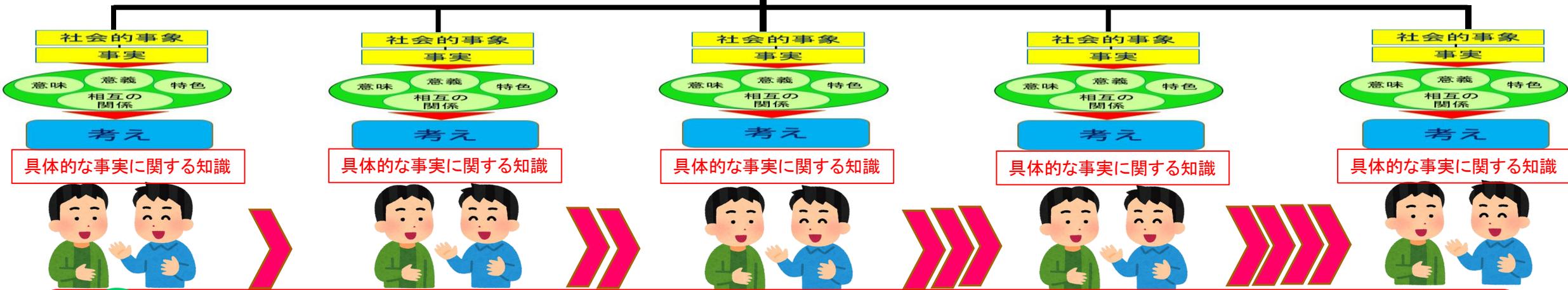
具体的な事実に関する知識の習得



# 子供が単元の課題解決を意識できる授業デザインをしましょう

## 単元の課題

**Point** 児童生徒との共有と意識化



**Point** 単元のまとめで表れてほしい児童生徒の姿に向かう各単位時間の授業設計

単元の最後で単元の目標を達成できた児童生徒の姿を、具体的な記述や発言の姿で明らかにする。



## 単元のまとめ

概念に関する知識の習得



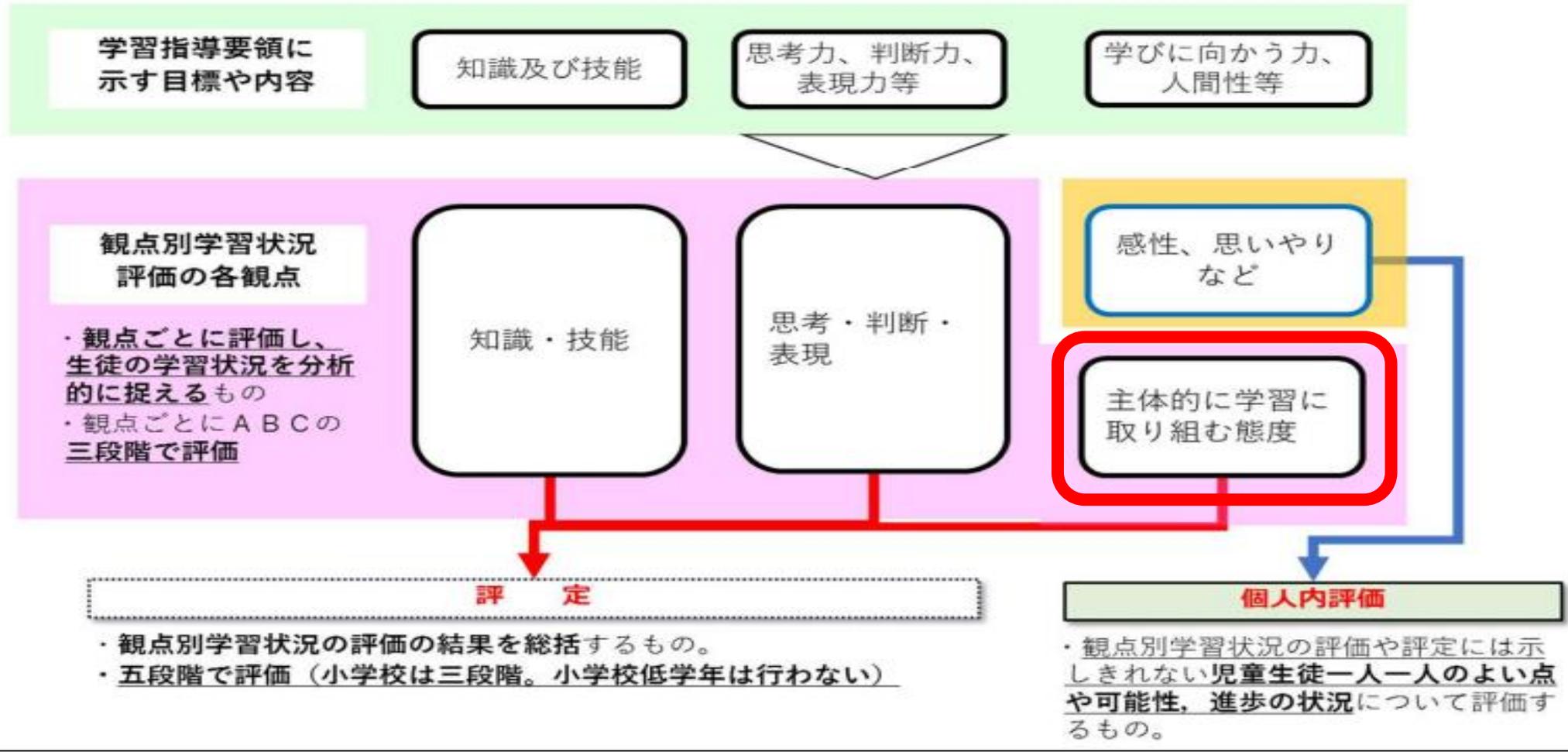
# 子供が単元の課題解決を意識できる授業デザインをしましょう

「児童生徒学習評価の在り方について(報告)」 中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会

H31.1.21

## 各教科における評価の基本構造

- ・各教科における評価は、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして学習状況を評価するもの（目標準拠評価）
- ・したがって、目標準拠評価は、集団内での相対的な位置付けを評価するいわゆる相対評価とは異なる。





# 子供が単元の課題解決を意識できる授業デザインをしましょう

駒形小学校

## 4年生の目標

まとめる

追究する

つかむ

(3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、**地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。**

## (4) 県内の伝統や文化、先人の働きについて 大単元構想

(4) 県内の伝統や文化、先人の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。

(イ) 地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解すること。

本時に係る  
単元



# 子供が単元の課題解決を意識できる授業デザインをしましょう

「児童生徒学習評価の在り方について(報告)」 中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会

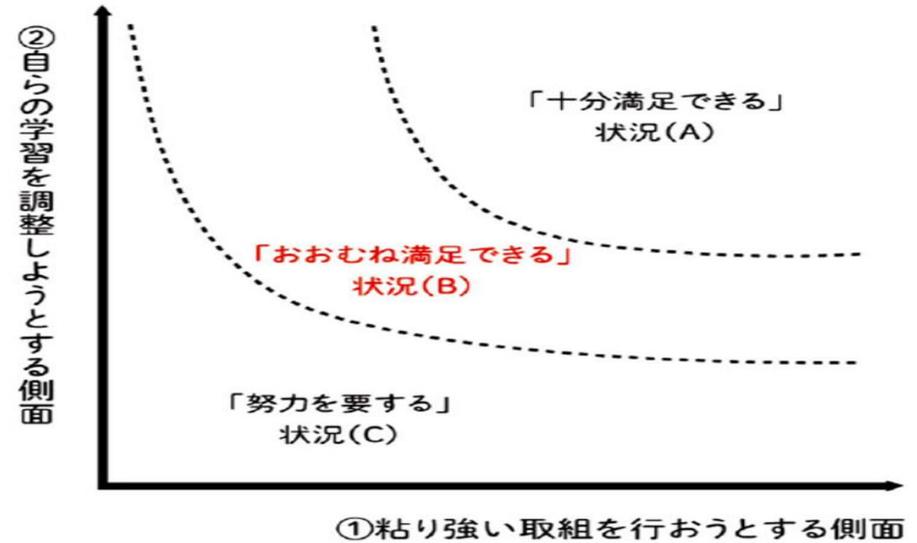
H31.1.21

## 【「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ】

○ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、  
①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面を評価することが求められる。

○ これら①②の姿は実際の教科等の学びの中では別々ではなく相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられる。例えば、自らの学習を全く調整しようとしせず粘り強く取り組み続ける姿や、粘り強さが全くない中で自らの学習を調整する姿は一般的ではない。

## 「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ



**Point** : 単元の課題を児童生徒と共有し、また意識させながら学習を進めることは、課題解決に向けての「粘り強い取組を行おうとする側面」「自らの学習を調整しようとする側面」を児童生徒の振り返り等の言葉を基に、評価していく上でも有効



# 子供が単元の課題解決を意識できる授業デザインをしましょう

駒形小学校

## 4年生の目標

まとめる

追究する

つかむ

(3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、**地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。**

## (4) 県内の伝統や文化、先人の働きについて 大単元構想

3 指導及び評価、ICT 活用の計画 (全9時間: 本時第5時) ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	主
1	・太田市の工業に関する資料を基に、小単元の課題を把握する。(a) 小単元の課題 中島知久平たちは、どのようにふうや努力をして、工業のまちを きずいていったのだろうか。			○
2	・中島知久平が飛行機を完成させる努力について年表などの資料を基に調べ、まとめる。	○		
3	・中島飛行機の発展について調べ、まとめる。(あ)	○		
4	・中島飛行機の発展と太田市の関わりについて考える。(a)		○	
5	・爆撃を受けた中島飛行機の再出発について調べ、まとめる。(あ)	○		
6	・自動車のまちとして株式会社SUBARUが心がけていることについて調べ、まとめる。	○		
7	・太田市の工場の発展について調べ、まとめる。	○		
8	・きょう土の先人たちの学習における、小単元の課題についてまとめる。(あ)	●	○	
9	・単元全体について、よりよい社会生活のために自分にできることを考える。(あ)		●	●



# 子供が単元の課題解決を意識できる授業デザインをしましょう

太田中学校

## 世界の諸地域

まとめる

追究する

つかむ

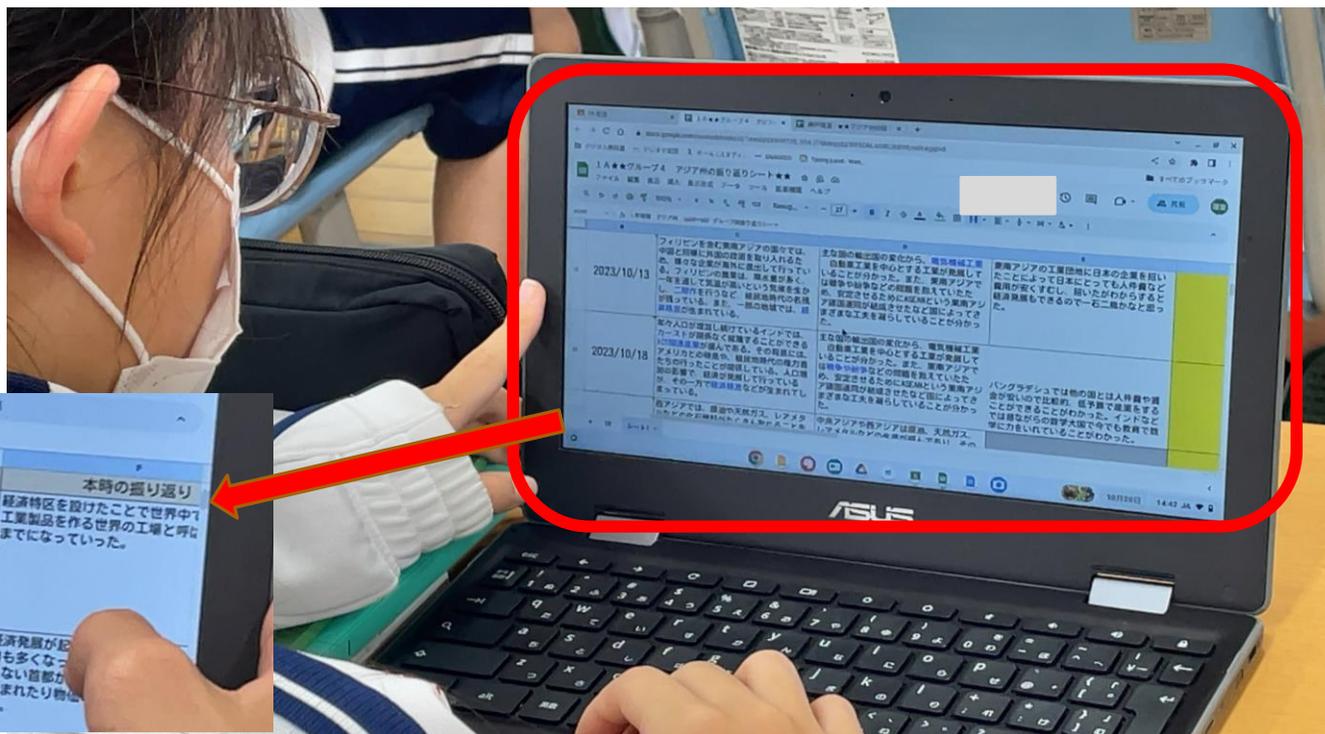
ア (ア)

世界各地で顕在化している**地球的課題は、それらが見られる地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解すること。**

・グループ共有の「振り返りシート」を基に、単元の課題解決に向けて**積み上げを意識させた活動**

アジア州の経済発展は、**地域にどのような影響を与えているのだろうか**

本時の振り返り	本時の振り返り	本時の振り返り	本時の振り返り
<p>とに伴って、様々な課題が顕在化し、世界との結びつきを大切にしようと努力している。その一方で、経済の発展による課題も出てきている。</p>	<p>中国は多くの課題を抱えながらも経済発展を続けてきたことがわかった。少子化が進み1979年一人っ子制作が厳格化されたことがわかった。今ではゆるくなっていることがわかった。世界各国との関係の友好も進んでいることがわかった。</p>	<p>経済特区を建設したことによってすべてが上手く行った訳ではないことがわかった。経済特区に外国の企業を招いたことによって自由な経済活動ができることがわかった。しかしたくさん建設したことによって排気ガスがたくさん出るといふリスクもあることがわかった。</p>	<p>経済特区を設けたことで世界中で工業製品を作る世界の工場と呼ばれるようになっていった。</p>
<p>ならって、外国企業を招きやすくなった。人口が集中する地域だけ発展してしまっている地域との経済格差が生じている。</p>	<p>日本の隣国である韓国は、情報通信技術などの発達や2018年には機械類が多くを輸出していることがわかった。人口は少ないが技術の発達速度がすごいことがわかった。</p>	<p>情報通信技術 (ICT) 関連産業を育成したことによってITやコンピューター、機械類や自動車など様々な産業が発達していることがわかった。</p>	<p>経済発展が起きている地域も多くなっていることがわかった。</p>





# 子供が単元の課題解決を意識できる授業デザインをしましょう

太田中学校

## 世界の諸地域

ア (ア)  
世界各地で顕在化している**地球的課題は、それらが見られる地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解すること。**

・「世界の諸地域」の最初の地域となる「アジア州」を、丁寧に取り扱うことで、今後の諸地域の学び方に生かせるようにしている。

まとめる

追究する

つかむ

・**グループ共有の「振り返りシート」を基に、単元の課題解決に向けて積み上げを意識させた活動**

3 指導及び評価、ICT 活用の計画 (全 10 時間 : 本時第 8 時) ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	主
1	・アジア州に関する諸資料を基に、単元の課題を設定する。(あ) (い) 単元の課題 アジア州の経済発展は、地域にどのような影響を与えているのだろうか			○
2	・モンスーンの影響や降水量の違いに着目したアジア州の農業の特色、沿岸部に人口が集中し都市化する理由を調べ、まとめる。(あ) (い)	○		
3	・中国の急速な経済発展や生活の変化とそれに伴う課題について考える。(あ) (い)		○	
4	・韓国の文化や工業の特色、首都一極集中による地域の課題を調べ、日本との関わりについて考える。(あ) (い) (う)		○	
5	・東南アジアの急速な工業発展の理由について、外国との関わりを視点にまとめる。(あ) (い)	○		
6	・南アジアの人口増加に伴う農業や工業の発展と地域的課題を、資料やグラフを基に考える。(あ) (い) (え)		○	
7	・石油資源が支える西アジアや中央アジアの経済成長と地域的課題を調べ、まとめる。(あ) (い)	●		
8	・アジア州が急速な経済発展を遂げた理由を考える。(あ) (う) (え)		●	
9	・アジア州の経済発展により生じる地球的規模の課題について考える。(あ) (う) (え)		●	
10	・アジア州の学習における、単元の課題についてまとめる。(あ) (い)		●	●

アジア州の経済発展は、**地域にどのような影響を与えているのだろうか**

# まとめ

## 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な**公民としての資質・能力の基礎**を育成する。



①「思考力、判断力、表現力等」をつけるための教師のコーディネート力を高めましょう  
(資料の活用、板書の工夫)



②子供が単元の課題解決を意識できる授業デザインをしましょう



概念に関する知識の習得

